

平成26年度第4回我孫子市農業振興協議会 会議概要報告

1. 会議名称： 我孫子市農業振興協議会
2. 開催日時： 平成27年2月3日（火）午後2時から
3. 開催場所： 名戸ヶ谷あびこ病院 大会議室

出席委員 (12名)	鈴木委員、齋藤委員、高田委員、須藤委員、染谷委員、大井(隆)委員、森委員、三宅委員、白澤委員、大炊委員、中野委員、大井(栄一)委員、今村委員、小林委員
欠席委員 (1名)	秋田委員
事務局 (6名)	徳本農政課長、岩田農政課長補佐、中野主査長、中場主査長、甲田主査、飯塚主任
オブザーバー	千葉県東葛飾農業事務所 井月次長

4. 議 事

(1) 協議事項

- ①手賀沼親水広場の移譲協議と活用計画案について
- ②(仮称)あびこ地産地消推進店登録要領について

(2) その他

5. 公開・非公開： 公 開

6. 傍聴人及び発言者： 傍聴人 1名

7. 会議に配布した資料

- ① 会議次第
- ② 手賀沼親水広場等活用計画(案)
- ③ 「水の館」施設利用(案)への応募意見の概要及び市の見解
- ④ 「水の館」(手賀沼親水広場)の施設を活用した農産物直売所整備に関するアンケート調査報告書
- ⑤ (仮称)あびこ地産地消推進店登録要領
- ⑥ 「水の館」図面
- ⑦ 集落座談会の開催について(お知らせ)
- ⑧ 農山漁村活性化プロジェクト支援交付金の概要
- ⑨ 都市農村共生・対流総合対策交付金の概要
- ⑩ 手賀沼利根川周辺地域活性化計画(案)

8. 会議の概要

- (1) 開会
- (2) 会長挨拶
- (3) 議事
- (4) その他
- (5) 閉会

○事務局（岩田課長補佐）

只今から平成26年度第4回我孫子市農業振興協議会を開会いたします。

本日はお忙しい中、ご出席いただきまして誠にありがとうございます。会議の進行を務めさせていただきます農政課の岩田です。よろしくお願ひいたします。

前回同様、東葛飾農業事務所から井月次長をオブザーバーとしてお招きしております。

それでは、議事に入らせていただきます。

○鈴木会長

本日傍聴希望者が1名おります。傍聴要領により傍聴させてよろしいでしょうか。

○委員

— 異議なしの声あり —

○鈴木会長

異議がないものと認め、傍聴を許可します。

配布資料の確認を事務局からお願いします。

○事務局（中野主査長）

— 配布資料の確認 —

○鈴木会長

会議の開催に当たりまして、一言ご挨拶申し上げます。

お忙しい中、ご出席いただきましてありがとうございます。まだ、まだ、寒さが続きますので、風邪などひかないようにしてください。

さて、今日の会議は、「水の館」移譲後の活用計画の詰めの協議になります。手賀沼を中心として、手賀沼周辺の活性化、我孫子の活性化が期待されますが、その中で、農業者は、農産物を提供しながら元気な農業を創って行こうと取り組みを進めているところです。この計画が実施されるのは、いずれにしましても県と市の議会を通してからとなりますが、本件は、今後の農業振興にとって大変大事な案件となりますので、よろしくご協議いただきますようお願いいたします。

それでは、議事に入ります。議事の一点目「手賀沼親水広場の移譲協議と活用計画案」について事務局から説明をお願いします。

○事務局（徳本課長）

— 手賀沼親水広場の移譲協議と活用計画（案）について説明 —

また、千葉県との移譲協議の経過及び本計画案についてのパブリックコメントの意見募集について補足説明した。

○鈴木会長

手賀沼親水広場の移譲協議と活用計画（案）について説明がありました。ご意見、ご質問がありましたらお願いします。

○小林委員

3点教えてください。1点目は、この計画を作るにあたり手賀沼漁業組合と話し合いを行いましたか。2点目は、市民活動スペースは一般の人の利用は制限される

のですか。また、利用料はどうなっていますか。3点目は我孫子市が適切な支援を行うとありますが、具体的にはどのような支援でしょうか。

○事務局（徳本課長）

1点目の漁協との関係ですが、私は我孫子手賀沼漁協の組合員の資格審査委員をしていますので、この間、組合長や事務長とお話しする機会もありました、先般は、県との間で手賀沼親水広場移譲の協議を進めているという話もさせてもらいました。お聞きしたところでは、現時点では、この移譲について「特に意見はない」とのことでした。ただ、現在の「水の館」の指定管理者からは、広場周りの管理の仕事を何らか受けているようでした。

2点目の市民活動スペースは、水環境保全啓発を主目的として県から譲り受けるため、その目的に沿った市民団体に使っていただくことを基本に考えていますが、使用していない時などは一般の方にも使用していただこうと考えています。利用料については今のところ考えていません。

3点目の実施体制の支援については、このたびの農産物直売所等の整備は、農業振興施策の柱として位置付けているものですので、これら施設が農業拠点施設として機能していくように、直売事業だけではなく、農家の方の交流、研修、栽培履歴の作成、地産地消の推進、その他、後継者が育つような拠点になるよう、多様なサポートをしていきたいと考えています。

○鈴木会長

小林委員よろしいでしょうか。

○小林委員

支援する期間はどのくらいですか。

○事務局（徳本課長）

農業振興を進めていくという位置付けですので、支援の期間は特に考えていません。

○鈴木会長

他に意見、ご質問がありましたらお願いします。

○白澤委員

「水の館」の中の直売所について、近くに「道の駅しょうなん」がありますので、対抗するには集客力が大事だと思います。大型バスの駐車場の確保は、第1期基本計画期間中に取り入れられています。第2期基本計画はどのようなものになるのですか。

○事務局（徳本課長）

第1期基本計画と第2期基本計画はリンクさせなければいけません。

水の館周辺から、桃山公園の下、高野山市民農園のあたりまで、高野山新田地区全体のあり方と一体で検討していくことになると考えています。市では、企画課を軸に、平成28年度から33年度までの第3次基本計画の検討作業に入っていますが、その作業の中でこの地区のあり方も検討されることになっています。もし、早

めに対応が必要なものが出てくれば、前倒しも考えることになると思います。

○鈴木会長

他に意見、ご質問がありましたらお願いします。

○三宅委員

2点お聞きしたいと思います。一つは、これは、市の立場では難しいかもしれませんが、千葉県が「水の館」を手放す理由はどういうことでしょうか。もう一つは、我孫子市が移譲を受けるという判断をしてきた経緯はどういう内容でしょうか。

○事務局（徳本課長）

千葉県は、行政改革推進委員会での議論を経た上で、手賀沼親水広場を含む107施設の見直し方針を策定しました。手賀沼親水広場は、我孫子市のシンボルである手賀沼のほとりに立地していることと、近辺の市施設等との連携による施設の有効活用等で市の管理運営によるメリットが期待できること、が挙げられ、指定管理期間の終了時を目途に市への移譲に向けた協議を進めるとされました。

市は、先般来お話しているように、昨年度の11月に県に考え方を照会し、7月末にようやく回答を得てから、大変タイトな期間の中で、県との協議を行ってきました。この間、移譲を受けた場合の活用計画の検討や、施設の改修費の概算積算などを行い、移譲時期を7月1日とすること、県は市に負担金2.4億円を支払うことなどで合意に至ったことで正式に移譲を受ける方針としたものです。

手賀沼の水環境保全関係では、県、周辺市、市民団体などとの調整もありますが、そちらの対応は手賀沼課で行っております。

○鈴木会長

他に意見、ご質問がありましたらお願いします。

○白澤委員

「水の館」移譲に関連してご報告したいことがあります。

手賀沼親水広場の移譲が実現した際に、農産物直売所をこちらに移すにあたりまして、あびベジさんから、農水省の補助金の「都市農村共生・対流総合対策交付金」というものを活用したいと、私ども「あびこ型「地産地消」推進協議会」に相談がありました。この交付金は、経営コンサルタントの活用や加工品開発支援、PR資料の作成など、いろいろな活用が考えられるものですが、あびベジさん単独では要件を満たせないということで、あびベジさん、あびこ型「地産地消」推進協議会に加え、我孫子市農政課にも入っていただいて、3者の協議会を作ることになりました。農水省の公募事業ですが、これから必要書類をつくって、手続きを進めていこうと考えております。

○事務局（徳本課長）

ただいまの白澤委員のお話の件は、このあとの報告で触れさせていただきますのでよろしく願いいたします。

○鈴木会長

白澤委員よろしいでしょうか。

○白澤委員

わかりました。後でご報告いただきたいと思います。

○鈴木会長

他に意見、ご質問がありましたらお願いします。議事の途中ではありますが、傍聴人の方、ここで、何かご意見はありますか。

○傍聴人

手賀沼とか我孫子の田に非常に関心をもっておりまして、このような審議会に来るだけ傍聴させていただき、私自身も勉強させていただいております。「水の館」については、以前から関心がありました。都合により退席しましてすみません。

○鈴木会長

次に議事の二点目の（仮称）あびこ地産地消推進店登録要領について、事務局からご説明をお願いいたします。

○事務局（中場主査長）

—（仮称）あびこ地産地消推進店登録要領について説明—

○鈴木会長

意見、ご質問がありましたらお願いします。

○小林委員

地産地消登録店要領において、当事者は市と登録店がありますが、中身は市の関わりが非常に強く感じます。もう少し、登録店の自主性を持たせたらと思います。

○事務局（徳本課長）

事業者の方が、ぜひ登録させて欲しいと言ってきて、それを、市が審査して承認して登録してあげる、そういう篩にかけるような運用の制度ではないと思っています。農業振興、地産地消の取組みに商工業者の皆さんにも参画してもらい、理解してもらい、そういったことで、登録いただく商工業者を広げていきたい。商工業者の皆さんとの信頼関係を崩さないように運営していきたいと考えています。これは、農業者、市民の皆さんとも一緒に事業を拓げていきたいと思っています。

○鈴木会長

他に意見、ご質問がありましたらお願いします。

特に意見はないようですので、質疑を打ち切ります。次に議事の三点目のその他の集落座談会について、事務局からご説明をお願いいたします。

○事務局（甲田主査）

— 集落座談会について説明 —

○鈴木会長

ご質問がありましたらお願いします。

特に意見はないようですので、続きまして、農山漁村活性化プロジェクト支援交付金の概要について、事務局からご説明をお願いいたします。

○事務局（徳本課長）

— 農山漁村活性化プロジェクト支援交付金の概要と手賀沼利根川周辺地域活性

化計画（案）について説明 —

「水の館」等施設を活用して農産物直売所等を整備する際に、経費の一部に充てるために農水省の公募交付金に応募したい旨説明し、これに応募するうえで必要となる「活性化計画」を作成するものであることを補足説明した。

○鈴木会長

ご質問がありましたらお願いします。

特に意見はないようですので、その他の都市農村共生・対流総合対策交付金の概要について、事務局からご説明をお願いいたします。

○事務局（徳本課長）

— 都市農村共生・対流総合対策交付金について説明 —

「水の館」を農業拠点として活用していくにあたり、関係者の連携のもとに、直売所運営のスキルアップ、魅力ある加工品の開発、食の人材育成、多様な情報発信などの取組みに、この交付金を活用したい旨説明した。

交付金応募にあたっては、事業実施主体の要件を確保するために、農事組合法人あびベジ、あびこ型「地産地消」推進協議会、我孫子市の3者で構成する協議会（名称・あびこ農力発見プロジェクト）を組織する予定であることを説明した。

なお、「農山漁村活性化プロジェクト支援交付金」「都市農村共生・対流総合対策交付金」の双方とも、国の予算枠に対して応募が上回る見通しであると聞いているため、実際に採択されるかどうか不明であることを補足した。

○鈴木会長

ご質問がありましたらお願いします。

特に意見はないようですので、本日の案件はすべて協議を終わりました。全体を通してご意見はありますか。

○大井（栄一）委員

我孫子の農業は水を大切にしている、環境に配慮しているということ、「水の館」がアピールする場になって欲しいと思います。

○鈴木会長

ありがとうございました。

最後に、オブザーバーとしてご出席いただいている井月次長さんより一言お願いします。

○井月次長

最後にご報告ありました、活性化プロジェクト支援交付金について、昨年度まで農村環境整備課で携わっていましたので、少し触れさせていただきたいと思います。

このプロジェクト交付金は、少子高齢化等の急速な進行や所得の減少などで、地方の活力が低下している、それを活性化させようという趣旨の交付金事業になっています。

本年度、私は、東葛飾農業事務所の職員研修を担当していきまして、今年は「人口減少少子高齢化とともに」というテーマで1年間研修を行いました。昨年、中公新書で話題になりました「地方消滅」という本が出されました。地方自治体自体がな

くなるということですが、今、地方の人口減少が大きな問題になっています。

千葉県では栄町の人口減少率が高く、東葛地区では我孫子市の人口減少率が高くなっています。なぜかという、若い女性の働く場所がないので、多くが外へ出て行ってしまい結果として子供がなかなか生まれない。Iターンでも新しい人が入ってこない。これが一つの人口減少少子高齢化の現象です。これがなぜ農業に関連してくるかは、昨年の農林白書で初めて人口減少のテーマとして入れています。何故かと言いますと、人口減少が起こると世帯も減り食べる量が減る。食の簡便化などの問題もあります。ではどうしたら良いかを考えた時に、この流れを押し返すためのIターンなり、Uターンなり、Jターン等色々ありますが、その仕掛けが必要です。「水の館」は一言で言うと受け手のアンテナショップ的な位置付けもあると思います。アンテナショップは、物販以外にIターンに向けての重要な情報発信拠点です。人口減少を止める役割も担っていると思います。開店に合わせて話題作りも重要だと思います。

いずれにいたしましても、魅力ある施設となり人口減少を食い止める施設になっていただければと思います。

○鈴木会長

ありがとうございました。

以上をもちまして平成26年度第4回我孫子市農業振興協議会を閉会いたします。

午後4時5分 散会